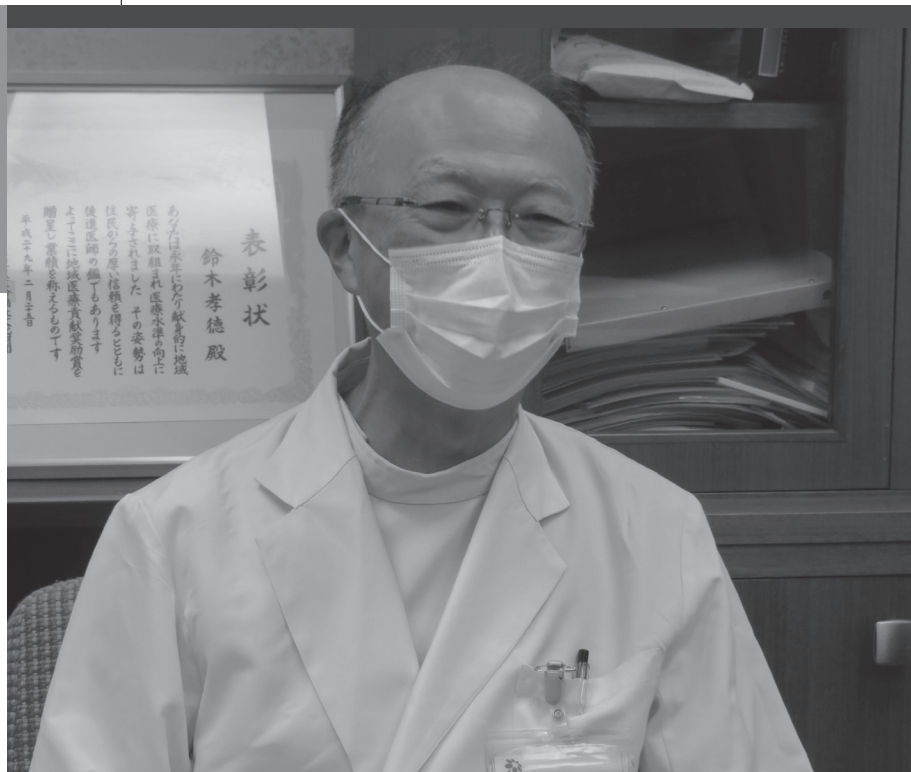


INTERVIEW

南房総市立富山国保病院 院長
鈴木孝徳 先生



コロナ禍でみせた ジェネラリストの心意気

聞き手：山田隆司 地域医療研究所長

地域のプライマリ・ケア病院でみんなが総合医として

山田隆司(聞き手) 今日、旧富山町にある南房総市立富山国保病院に院長の鈴木孝徳先生をお訪ねしました。鈴木先生は3月に発表になった過疎地など厳しい環境で長年、地域の医療や福祉を支えてきた人を表彰する「第49回医療功労賞」を受賞されたとのことで、この度はおめでとうございます。また、この病院は51床とのことです。クルーズ船の時から新型コロナウイルス感染症に対応してきたと伺い、びっくりしました。その話も含め、先生のこの地域での活動をお聞きしたいと思います。まずは大学を卒業されてからの経緯を簡単に紹介していただけますか。

鈴木孝徳 私は1984年に自治医科大学を7期生で卒

業し、千葉県内の国保旭中央病院で研修をしました。1年間は内科、2年目は麻酔科や整形外科など多科をローテートし、自治医大の卒業生は2年間の研修が終わったらへき地へ行くということで、いろいろなことを教わり、たくさんの症例を受け持たせていただきました。その後2年間鴨川市立国保病院へ赴任しました。1期生の佐藤信一先生が副院長でその下に私が行ったのですが、内科医2人、外科医4人、歯科医3人で病床は70床くらいでした。みんな仲良く、仕事も一生懸命やりましたし、仕事の後の飲み会やテニスなど、和気あいあいとした雰囲気、楽しい2年間でした。また、当時の院長は「病院で待つのではなく地域へ出ていく医療」が重要だ

という考えで、まだ医療保険の中に訪問看護という制度がない時代に、看護師さんに褥瘡の処置に行ってもらおうというようなことも先進的に始めて、私も在宅医療を初めて経験しました。その時に地域の人たちとより身近に接することができる、そういう地域医療にやりがいを感じました。

その後、後期研修で2年間、再度、国保旭中央病院に戻り、消化器内科を中心に内視鏡やエコー、救急の止血処置など、地域に出ても困らないような研修をさせていただきました。そして7年目に現在の病院に赴任しました。当時は一般病床35床と結核病床が20床、伝染病床が12床ありました。

山田 そのとき医師は何人でしたか。

鈴木 2人でした。院長先生の下に1期生の児玉吉伸先生が最初に赴任して、それから卒業生が2、3年おきに派遣されて来ていました。その院長先生が定年で退職され、それからここを自治医大の卒業生にやってほしいという話になりました。院長退職後はその時にいらっしゃった4期生の小高達也先生が院長になりましたが、医師1人だったため、1期生の吉新通康先生が応援に来てくださり、その後に私が派遣されて来ました。ところが小高先生は開業される予定があり、常勤医が私1人になってしまうため、自治医大地域医療学教室から2期生の寺門道之先生が5ヵ月院長として赴任してくださいました。寺門先生が、職員の接遇向上委員会や、人間ドック委員会などいろいろな委員会をつくり、新しい取り組みを始めてくださいました。人間ドックを始めるにあたっては亀田総合病院に職員が見学に行きました。

山田 寺門先生の後、先生が院長になったのは何年ですか？

鈴木 1991年で、2期生の小川芳信先生に応援に来ていただいていた時です。

山田 それから30年、ずっと院長をやっているわけですね。

鈴木 そうなのです。本当に皆さんのおかげです。自治医大の卒業生の派遣は県によっては県が全て決めるところもありますが、千葉県では旭中央病院の当時の院長の諸橋芳夫先生が直営診療施設協会で「一部の有力者で自治医大卒業生の人事を決めてはいけない。みんなで意見を出し合って公正に決めべきだ」と発言され、選定委員会を開いて決めることになったのです。その委員会で各病院の院長が派遣の要望の理由や病院が今どうなっているかを説明し、自治医大の卒業生には「君たちも希望があったら述べなさい」ということだったので、自治医大の千葉県人会としては、1人ずつではなく複数配置にしてほしい。週1回の研修を確保していただきたいと言った要望を出しました。

山田 千葉県では旭中央もあり、地域医療を主に国保の施設が担ってきたという感じかと思いますが、卒業生は小さい国保病院へ派遣されることが多いのですか。

鈴木 そうですね。大体50~70床ぐらいで、医師3、4人という病院が多いです。

山田 一般的な外来診療をやって、入院患者を持って、ある程度救急患者も診て、地域で何でも診て対応するという感じでしょうか。

鈴木 はい、プライマリ・ケアですね。肺炎、腹痛、診断未定の発熱が多いです。対応できない場合はここから40分ぐらいの亀田総合病院に送ります。

山田 旧富山町の人口はどのぐらいだったのですか。

鈴木 私が来たときには7千人ぐらいでした。

山田 町内には他の病院もあるのですか。

鈴木 病院はここだけです。救急も断らないで診ようということで、できるかぎり受けていました。

山田 先生が赴任された時は、医師は2人だったようですが、その後は何人ぐらいになったのですか。